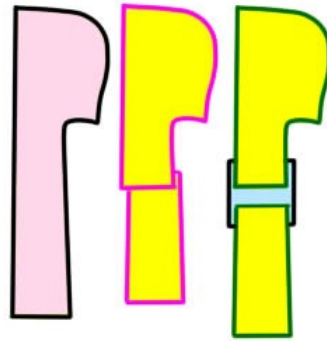


型紙の線によって長さや先の形をかえられます。
実際に頭に当ててお好みの形で作ってください



長さを微調整したいとき

短くしたい場合

はどこでもいいので途中で切って
短くしたい長さまで重ねる。

長くしたい場合

間に紙を挟んで長くする。
重ねたり紙を足した場所は線の
つながりに段差が出ると思うので

定規で線をひきなおしてまっすぐにしてください



型紙を置いて毛並みの向きを決めてください。



裏側から形を写してください。

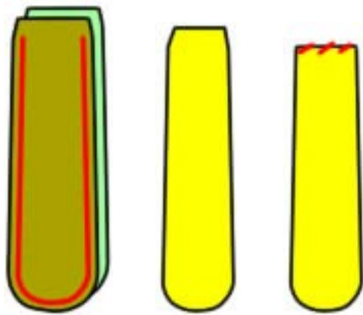


カッターで裏の土台の生地だけを丁寧に切り取ります。
ハサミでザクザク切ると、毛が散って部屋の中が
大変な事になります。
なので、毛を切らないように土台の生地だけを切り
ましょう。
この時カッターの刃の切れ味が悪いと、かえって
毛が散るで刃先を折って切れ味のよい状態にしま
しょう。

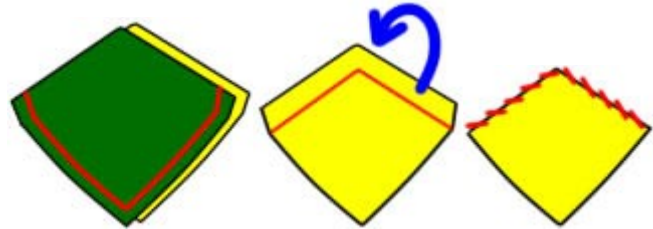


切り出した後は端の毛がポロポロと取れる思うので、むしりすぎない程度に軽く毛をとって置くと散らばるのを減らせます。

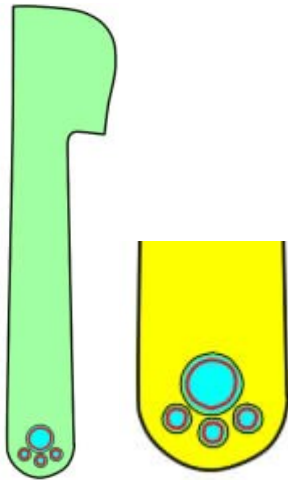
うさぎ耳



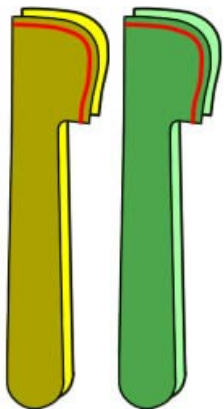
犬・ネコ耳



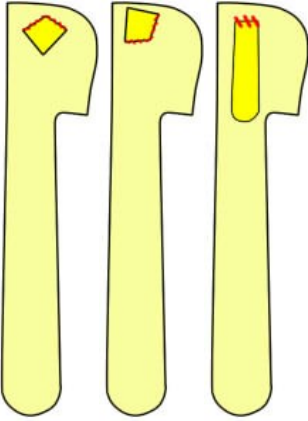
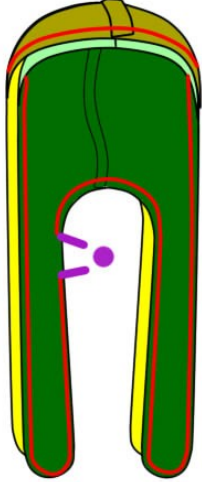
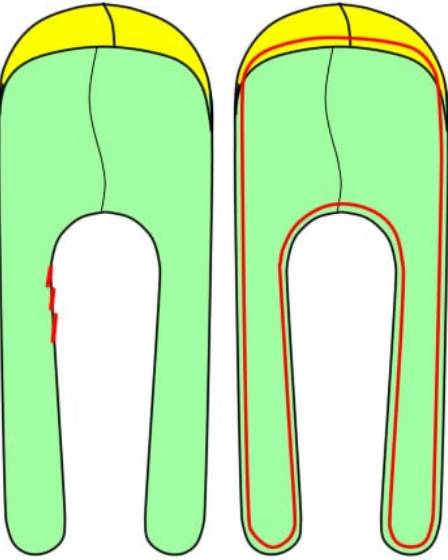

耳の部分を作ってください。
耳の外側と内側のパーツを内側が表になるように重ねて縫ってください。
耳のパーツを表にひっくり返す。
縫い代を中に入れる。
表にかえした所を手縫いで縫って下さい。



お好みで、フードの内側の生地にフェルトで肉きゅうをつけてください。



表と裏のフードを内側が表になる用に重ね縫って下さい。

	<p>表地に耳のパーツを手縫いで縫い付けてください。 フードを頭にかぶり、鏡を見ながら好みの角度でつけてください。 犬・ネコ耳はつける角度でふせ耳や立った耳にすることが出来ます。 縫い方は取れなければ何でもいいです。 毛があるので縫い目は隠れます。</p>
	<p>表と裏地を内側同士が表になるように重ねて縫ってください。 ひっくり返すため紫の丸の所を 10cm程度開けてください。</p>
	<p>ひっくり返したところの縫い代を中に入れて手縫いで穴を閉じてください。 裏地が落ち着かず、シルエットがはっきり出ない場合は、端から 5~10 mmの所を縫ってください。</p>
	<p>端の毛が内側に入っているので、古くなったミシン針や目打ち等で毛を引っ張り出す。 シルエットをはっきりさせるために端を縫った場合は縫い目のところの毛も引き出してください</p>



引き出したあと← →引き出す前

毛を引っ張り出さないと左の写真のようにミシンの縫い目が目立ってしまいます。

毛を引き出すことで目立たなくなりますよ♪

必要な材料

表生地、裏生地 お好みでフェルト 糸。

おすすめの生地

フェイクファー

動物の毛皮を再現した生地。

色数も豊富で、毛の長さも色々ある。

ニット

裏地に使うと肌触りがいい。

表が厚いので裏地は Tシャツ位の薄手の物を使うと良い。

糸

手縫い糸。力がかかる部分なので、太目の物を使用すると頑丈になります